

市交際費の支出状況



令和7年7月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔 慰	今月分 累 計	4 6	14,800 24,800
見 舞 い	今月分 累 計	0 0	0 0
御 祝	今月分 累 計	4 17	8,000 59,700
賛 助	今月分 累 計	0 2	0 13,284
激励金	今月分 累 計	0 0	0 0
接 遇	今月分 累 計	1 5	9,310 94,740
会 費	今月分 累 計	2 9	11,000 51,000
そ の 他	今月分 累 計	0 2	0 7,645
合 計	今月分 累 計	11 41	43,110 251,169

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係

☎0952-75-2115

「みせたい景色」

6月、地域の子どもたちと田植えをしました。水を張った田んぼに歓声をあげる子、泥の感触に顔をしかめる子、泥遊びに夢中になる子、みんなの表情は輝いていました。秋には稲となり、やがて収穫を迎えます。この美しい田園風景と新米を囲む食卓を、未来を担う子どもたちへ繋いでいきたいと願っています。

私が子どもの頃に親しんだ「日常の風景」は、少しずつ姿を変えつつあります。特別じゃないけれど、心に残る大切な記憶。それが「豊かさ」なのかもしれない。この「豊かさ」を守り育てることは、9月のSDGs（持続可能な開発目標）月間が教えてくれ

tomon i kiru

る「持続可能な社会」に深く関わります。SDGsは、より良い未来をみんなで作るための世界共通の大きな目標です。地球環境を大切にする、自分らしく生きられる社会を作ることなど、たくさん目の目標があります。自然とともに生きる暮らし、これらを実践することが「誰一人取り残さない」というSDGsの大事な考え方に繋がります。

私には、子どもたちにみせたい景色があります。味わってほしい季節の恵みがあります。私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中で「何を大事にしたいか」を意識して行動することで、守れるものがあります。便利な生活の中で忘れがちな、本当に大切なものにも、もう一度心を向けてみませんか。子どもたちの輝く笑顔のために。

社会教育指導員

宮下 法子

Message for citizen



市長「コラム」



8月19日 記

市長 横尾 俊彦

線状降水帯の豪雨

8月10日夜7時から8時過ぎにかけて、とても強い雨が降りました。線状降水帯が佐賀県で発生したのです。予報は発生のおそれありだったと思います。が、急な気象状況により一気に多量の雨が襲いました。そのころ私は市内状況を確認するため、自家用車で動いていました。雨足が強くなるのは予想していましたが、すぐに車のワイパーが効かないほど前方は見づらく、やや恐怖も感じられるような急なひどい雨でした。中山峠の坂を登り進みましたが、坂道に降る雨が水路に流れるよりも速い勢いで上空の雲から豪雨となって降ってきたのです。そのため、坂道なのに水たまりの中を走るかのような水しぶきも発生しました。中多久駅にさしかかると、駅前道路が水浸しで、次第に溜まっていく感じでした。これは危険と察知し、市役所

防災安全課職員に連絡。現状と気象情報、水防体制の備えについて手短かに情報共有しました。この1時間ほどの雨は時間雨量80ミリ超の雨だったのです。この後は線状降水帯が移動したのか、さほどの雨はなかった。ので難を逃れました。もしもあと2時間降り続けていたら、市内のどこかで災害発生になった危険性が大きかったと思います。これが線状降水帯かと実感するとともに、その予知や備えの難しさも体感しました。この経験も次に活かし、市民を守る防災力向上に努めます。災害対策には経験知が重要です。次に何が起こるかイメージしつつ、リアルタイム情報を集めて現状分析し、対策する。そしてホットラインで関係機関と連携して対策を強化する。これら一連の備えを高め、まだ続く雨と台風の季節に備えます。猛暑残暑、ご自愛下さい。